

学校教育目標	みんな輝け 和泉っ子				
	(知)学ぶ楽しさを味わい、粘り強く学び自ら解決する子を育てます。 (徳)思いやりをもち、互いに認め合う、心豊かな子を育てます。 (体)心と体を鍛え、自他の命や体を大切にすることを育てます。 (公)地域に学び、地域に親しみ、地域を大切にすることを育てます。 (開)社会への視野を広げ、進んで働きかけようとする子を育てます。				
学校概要	創立 48 周年	学校長 平井 克明	副校長 森 飛鳥	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 352 人 主な関係校: 中和田中学校、中和田小学校、伊勢山小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中和田中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーション能力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	中和田中学校 中和田小学校 伊勢山小学校 和泉小学校	○自ら進んであいさつができる児童・生徒 ○地域の一員として行動できる児童・生徒 ○地域行事等での小中の協働活動を通じて、地域との連携を進めて、地域の一員としての自覚・責任・行動を引き出していく。 ○小中の授業交流・文化交流を通して小中の一貫教育を進め、義務教育9年間で育てる児童生徒像を共有して共通目標の実現を図る。

中期取組目標	○学校、家庭、地域がしっかりと手を結び、児童が安全、安心に過ごせる学校生活を過ごせる学校にします。 ・課題解決学習を通して、児童が学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、自己の思いを豊かに表現できる子を育てます。 ・道徳の学習や、伝統的行事に取り組み、豊かな心を育みます。 ・体育的行事に取り組みながら健康的な身体を作ります。 ・学校・家庭・地域との「つながり」を大切にして、地域の中に生きる心豊かな子を育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 教育課程	①基礎・基本の定着をはかる。②個の特性に合った特別支援教育の充実を図る。③ユニバーサルデザインを生かした教材研究や実践的な研修を組織的にを行い、研究・研修を通して教師の授業力向上に努める。④家庭との連携を密にし、基礎・基本の定着を図る。
豊かな心 担当 児童支援・人権教育部会	①児童一人ひとりが安心して豊かに過ごせる人権教育を推進する。②各教科・横浜の時間等で、地域とのつながりを大切にした学習をすることにより、地域を愛する心を育てる。③中和田中ブロック共通で「あいさつ」をテーマに、あいさつの輪が広がるような具体的取り組みを推進する。
健やかな体 担当 体育部・健康教育部	①休み時間を使って、長縄大会、ドッジボール大会、全校鬼ごっこなどを開催し、児童が体を動かすことの楽しさを味わえるようにする。②保護者との連携強化を図り、規則正しい生活習慣が身につくようにする。
特別支援教育 担当 児童支援部会	①児童支援専任教諭を中心に、特別な支援を必要とする児童の実態把握に努め、全教職員で情報を共有し、適切に支援できるようにする。②授業内に於いてのTT授業や「キラキラ教室」の拡充により、より一層の個別指導の充実を図る。
伝統文化の学習 担当 総合的な学習部	①6年生では、伝統文化(歌舞伎、日本舞踊、天王囃子)を学習し、地域や保護者に向けて発表する。②4、5年生は、発表を見学することによりその良さに触れる。③伝統文化の良さに触れ日本の文化の良さを他校・他県・外国に発信する。
保護者・地域との連携 担当 教務部	①「和泉小学校交流会」「学校運営委員会」を通して、地域とのより一層の連携を図っていく。②ハマロードサポーターの活動を通して、地域の一員であるという自覚を養うと共に自ら行動する気持ちを育てる。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①児童の情報をすべての教職員が共有できるようなシステムを構築する。②人権教育を充実させ、より多角的・多面的な見方ができる授業展開を行う。③児童一人ひとりが自己有用感を持てるような教育活動を展開する。④いじめ防止対策委員会を中心とした組織で対応できるようにする。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 メンターチーム・教務部	①児童支援専任教諭を中心としたケースワーク研修を通して、教師一人ひとりの児童理解力・指導力を向上させる。②メンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を継続して行う。③キャリアに応じた自主研修の推奨を行う。④学習・研究・教育課程部会を組織し、教師の授業力向上を図る。